

中期的見据え 自立的な活用へ

マネジメントの視点で伴走

NTT データ経営研究所

本事業の事務局である我々は、国や自治体・介護現場・機器メーカーのハブ機能を担い、ニーズとシーズの両面から生産性向上に向けた取り組みを支援しています。

介護ロボットが現場に浸透するためには、「生産性向上」について現場への丁寧な説明が必要で、効率化の考え方は「介護側の負担を軽減するもの」と「利用者の自立を促すもの」の2つ観点があり、効果が現れる期間に着目すると「短期間で



先端技術戦略ユニット
Healthcare Implementation
Group
アソシエイトパートナー
足立圭司氏

効果を得るものから「中長期的な視野で捉えるべきもの」まで様々です。例えば、腰痛予防のための機器は介護者の負担を軽減し、中長期的な視点で離職の抑制を期待するもの。しかし短期的に見ればその機器を装着する手間を追加することになり、一旦は作業効率が悪くなります。中長期的な視点も踏まえ、何のために導入するか、目的をしっかりと組織内で共有することが重要です。

また、補助金ありきで導入しても活用しきれない施設が多く見受けられます。例えば、あるベン

「生産性向上」の丁寧な説明を

「生産性向上」の丁寧な説明を、現場のニーズに即した機器を開発し、「課題を解決する」価値あるものとしてフル活用してもらうために、相談窓口やリビングラボなどを上手く活用していただきたいです。例えば、あるベン

チャーのメーカーでは、実証フィールドでニーズのヒアリングと商品改良を短期間で壁打ちのように繰り返して、順調に開発を進めています。

また、この事業は優秀な技術を持った介護業界以外のメーカーの新規参入を促進させる役割を担っています。介護業界は一般市場に比べ、介護保険制度によりマーケットの構造がわかりづらく、ハードルを感じる企業が多いこともわかってきています。そのハードルを出来る限り下げ、現場のニーズや規制などからわかるよう情報発信に注力していきます。



厚労省
老健局高齢者支援課長補佐
東好宣氏

普及を推進できるような支援していきます。求めに幅広く応じるため、現在はリビングラボなどでの実証にとどまらず、企業同士・流通・小売企業などともつながるなど、製品開発の検討時から販売後まで切れ目なく支援する流れができつつあります。

事業者・企業が単体で取り組もうとしても上手くいかないこともあると思います。地域のモデル施設や関係団体など地域のネットワークづくりに貢献できるような役割を果たしていきたいです。

いきなり相談することによってハードルを感じる場合は、事業のHPを見ると、現場のニーズをよりしっかりと把握した上で開発

企業の新規参入、強化

グラボの活用は、該当地域の相談窓口等で電話・メール・直接相談にて受け付ける。必要に応じて何回でも無料で利用可能。

厚労省はプラットフォーム事業に加え、開発企業に向けた「介護ロボットのニーズ・シーズマッチング支援事業」も並行して実施。現場の課題を企業側に広く周知し、よりニーズに即した開発を促進する。

具体的には、相談窓口・リビングラボ等が集まる現場のニーズを集約した「ニーズリスト」を作成し、HPで公開している。施設と在宅における使用場面を分類し、解説。現場の様子やわかる動画も掲載予定だ。また、技術を持ったメーカー同士とのマッチングも実施する。さらに物流や小売・アフターサービス事業者などのマッチングにも注力し、上市後の課題にも対応していく。

加えて、異分野の企業に對し、介護分野への参入も促進。今年度は他業界向けに介護業界の制度や、ニーズ、事業化の仕組みなど、現場の課題を企業側に広く周知し、よりニーズに即した開発を促進する。

これら事業の事務局を担うNTTデータ経営研究所の足立圭司氏は、「課題がない事業者や企業はないはず。一緒に試行錯誤しながら向けていく」と語る(左囲み記事参照)。

今後さらに自治体や業界団体、経済産業省とも連携を強化し、周知する方針だ。

PICK UP!

2050年を想定し開発 東北大学青葉山リビングラボ

8ヶ所あるリビングラボの中でも、同ラボは2050年の未来を想定した画期的な解決策と、近い将来に適用できる現実的な解決策の両輪を見据えた研究開発拠点。

東北大学大学院工学研究科の平田泰久教授がプロジェクトマネジャーを務める「JSTムーンスイッチ」型研究開発制度」のプロジェクト内における、次世代介護ロボット研究開発の場として活用される。同プロジェクトは、困難だが実現

現すれば大きな影響が期待される野心的な目標(ムーンスイッチ)に向け、国が推進するもの。

加えて、現時点で実際に使えるロボットの開発にも尽力。約250㎡のスペースに施設と在宅介護それぞれを模倣した環境を構築し、研究開発に必要な各種計測装置や介護ロボット機器を完備。

例えば、排泄感知システムを開発する会社には、実証協力施設の紹介および実証の結果を受け、改良点に関する助言や、マーケティングに関する助言をした事例を持つ。



▲模擬環境を用意し、環境適合性など評価

現場に寄り添った支援へ

地域のネットワークづくり

普及を推進できるような支援していきます。求めに幅広く応じるため、現在はリビングラボなどでの実証にとどまらず、企業同士・流通・小売企業などともつながるなど、製品開発の検討時から販売後まで切れ目なく支援する流れができつつあります。

医療・介護施設用商品

ころやわ

今メディアで話題の商品

分割可能で設置が楽々

設置簡単 床に置くだけ

スロープ仕様で車椅子での移動スムーズ

安全

転倒時のみ柔らか

骨折リスクを軽減

設置簡単 工事不要

ご自宅・居室で転倒しても最小限のリスクに

「ころやわ」は、歩行時は固く、転倒時には沈み込み、骨折リスクを低減する「衝撃吸収性」を実現。フローリング転倒時の約半分の衝撃に抑えることができます。

通常時

▲歩行時は固いので歩行もスムーズ

転倒時

▲転倒時は衝撃を吸収し、利用者の怪我等によるリスクを低減

車いす使用時

▲車いすを利用しても凹みはほとんどありません

※画像は開発時のプロトタイプ製品であり、実際にご利用いただく製品は写真ほど大きく凹みません。

お気軽に
お問合せ下さい

■ 販売代理店 株式会社エクセレントケアサポート

Tel.075-744-6512 Fax.075-744-6547

〒600-8025 京都市下京区河原町通松原上清水町280-1

受付時間 (月~金/9:00~18:00) <https://excare-s.co.jp/>

■ 製造・販売元/株式会社 Magic Shields